

9つのセンサーとアプリで 運動能力を数値化・一元管理

- 筋力・可動域・バランス能力・跳躍高・筋電位 -



客観的データ

主観的評価から数値による客観的評価の実現を可能とします。



バイオフィードバック

リアルタイムのフィードバックで筋力の使い方を効率化します。ゲームはリハビリテーションとトレーニングに楽しさを提供します。

被験者の進捗管理

測定データを蓄積することで経時的変化の確認が可能です。

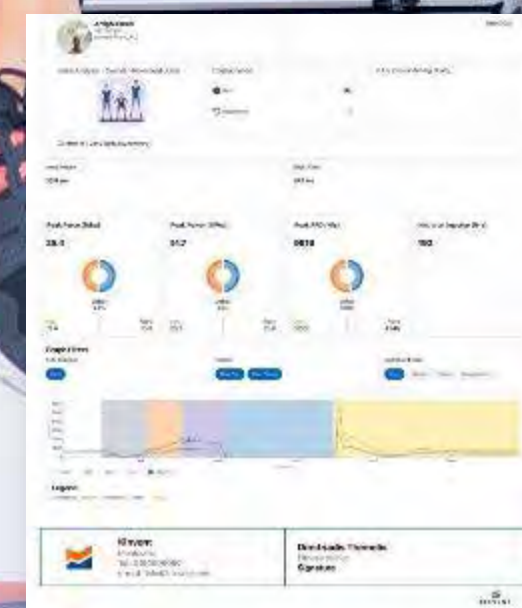


結果の確認

My Kinventで被験者と測定結果の共有が可能です。

オーダーメイドメニュー

被験者に合わせたメニュー作成で効率的なリハビリテーションとトレーニングのメニューを設計可能です。



時間の節約

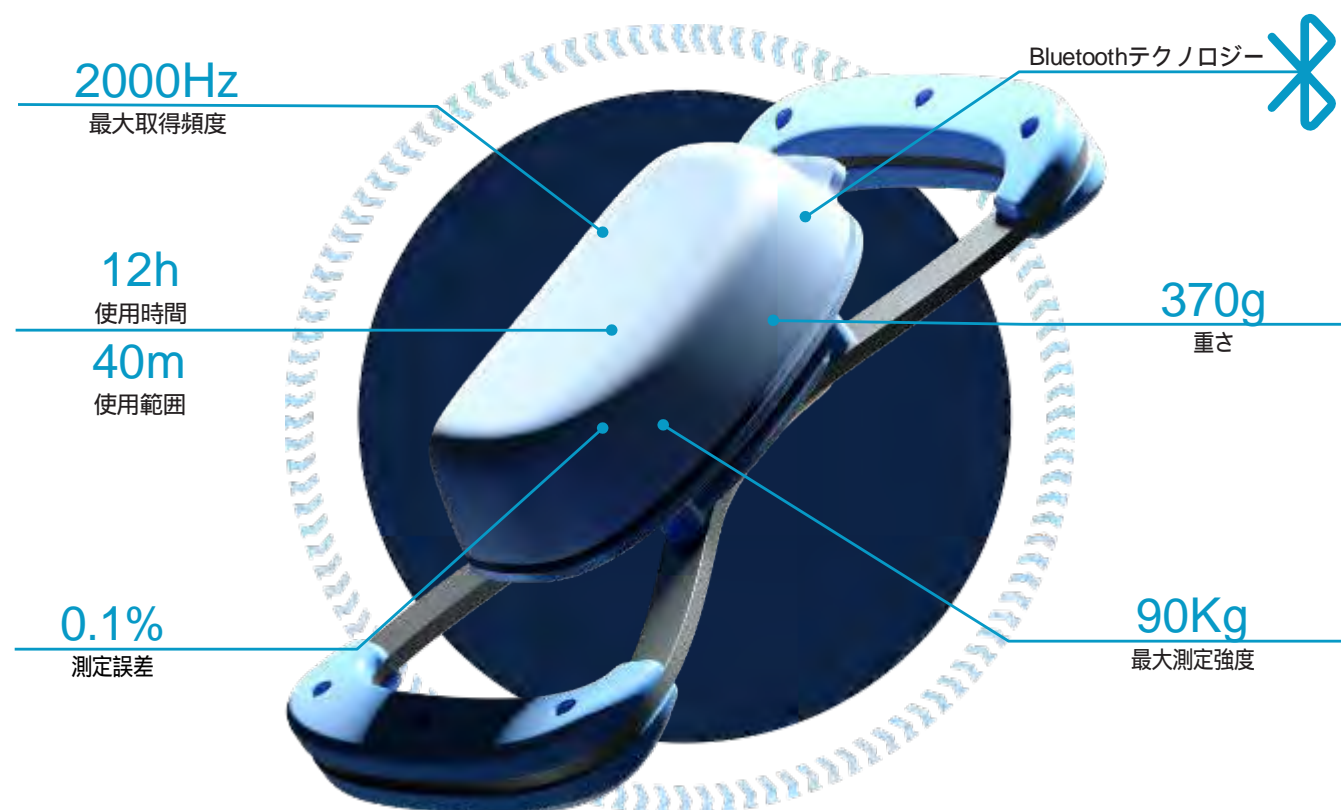
ワンクリックでレポートを作成し、AirDrop、Bluetooth、電子メールなどを介して簡単にレポートを共有が可能です。



K-PUSH

客観的な筋力評価が可能な徒手筋力センサー

定量化された測定は測定者の負担を軽減し、ハンドヘルド式はあらゆる部位の測定を容易とします。
ノルディックハムストリングの評価プロトコルにも使用可能です。



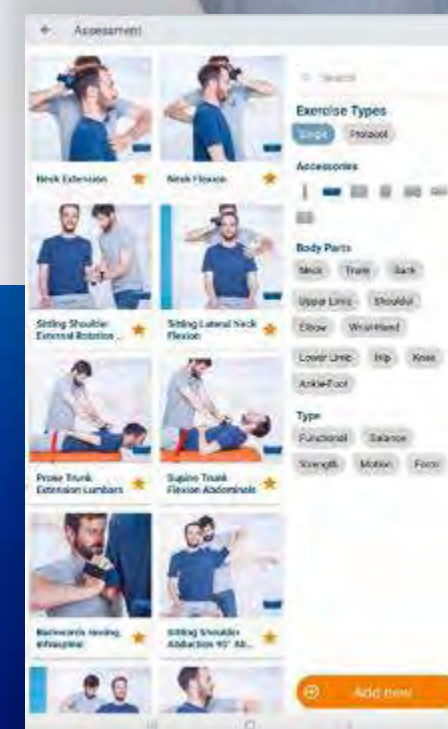
USE IT ON THE **PHYSIO-APP**

被験者の進捗状況を記録

最大筋力：
力のピークを測定し、筋群の最大能力を評価します。

筋持久力：
平均筋力を測定し、被験者の身体的運動を長時間維持する能力と疲労度を客観的に評価します。

筋肉の対称性：
相対する手足、または主動筋と拮抗筋の筋力差を測定します。





K-PULL

場所を選ばず測定可能な張力センサー

等尺性筋力の測定、バイオフィードバックトレーニングに有用な張力センサーです。付属アクセサリで訓練台や手すりへ固定することで、測定者に依存しない測定が可能です。



訓練台や手すりに簡単に固定することができます



被験者の進捗状況を記録

最大筋力：
力のピークを測定し、筋群の最大能力を評価します。

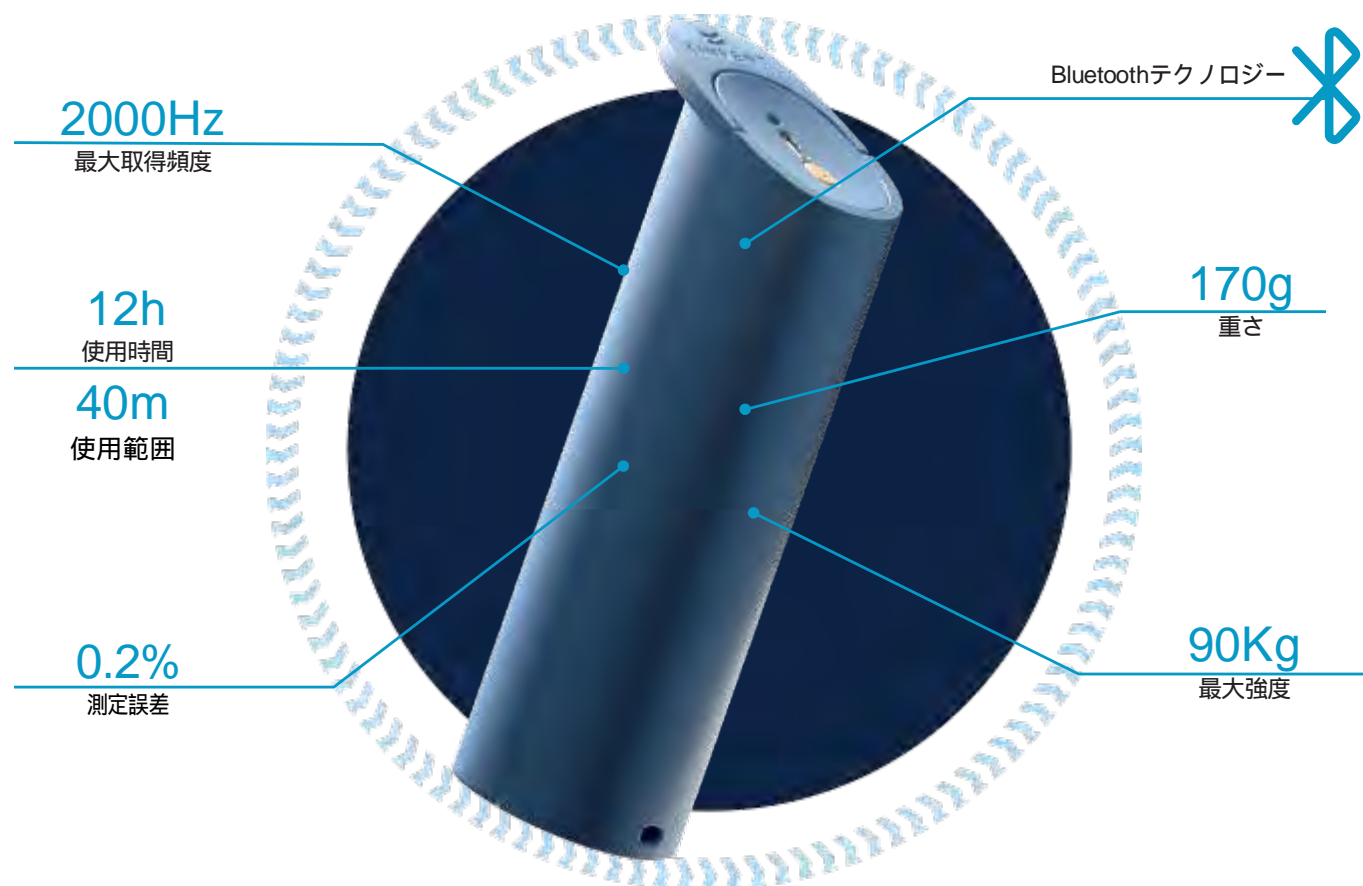
筋持久力：
平均筋力を測定し、被験者の身体的運動を長時間維持する能力と疲労度を客観的に評価します。

筋肉の対称性：
手足の筋力差を評価します。被験者のリハビリテーションやトレーニングの経過について測定するためのツールとして活用可能です。

K-GRIP

多様な評価が可能な握力センサー

RFD(力の立ち上がり率)、最大値までの到達時間、平均筋力、疲労度などの測定が可能です。連続測定や長めの測定時間を設定することで筋持久力の測定も可能です。



被験者の進捗状況を記録

最大筋力：
力のピークを測定し、被験者の最大握力を評価します。また、最大値までの到達時間の確認も可能です。

筋持久力：
平均筋力を測定し、被験者の身体的運動を長時間維持する能力と疲労度を客観的に評価します。

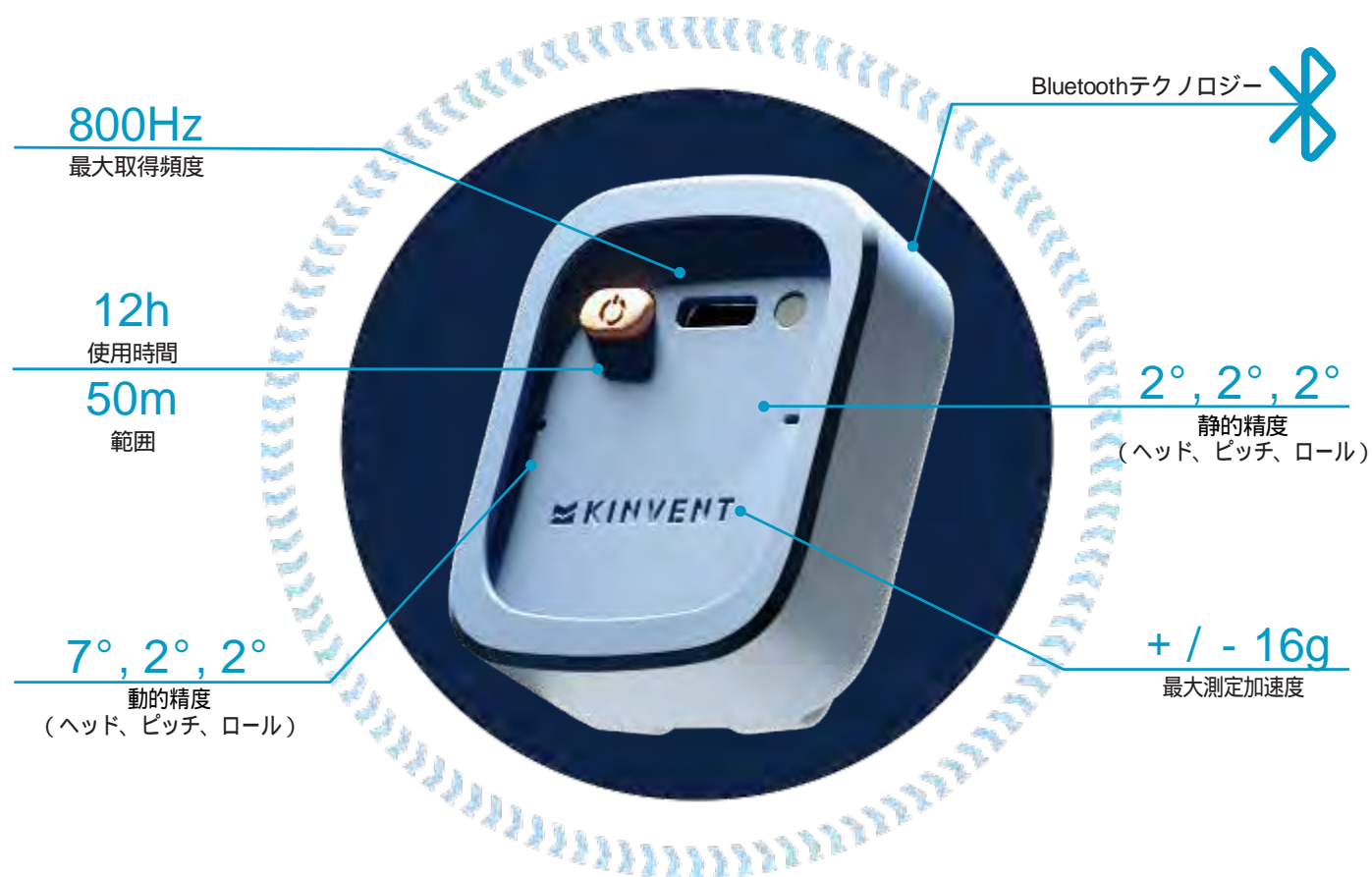
K-Gripは回旋筋力の推定に使用することもできます。また握力はローテーターカフの動員能力の指標となる可能性があります。



K-MOVE

小型・軽量な可動域センサー

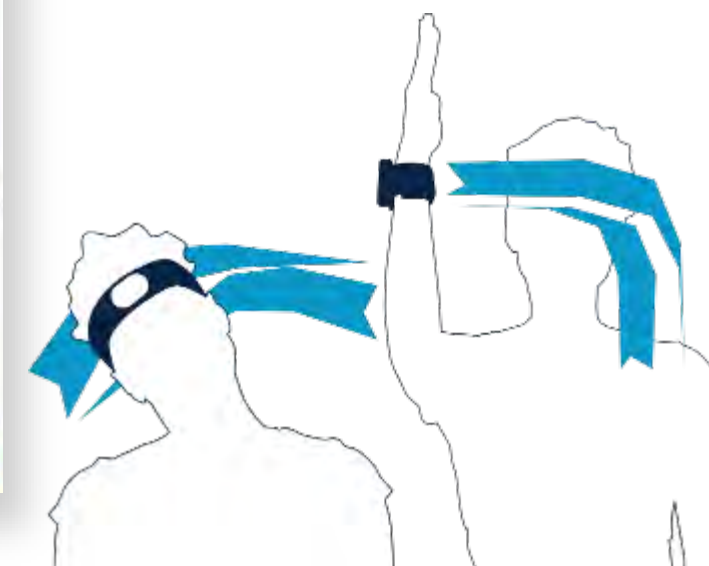
関節可動域を評価するために設計されたセンサーです。
加速度センサーとジャイロセンサーが内蔵されていて、関節機能の測定に最適なツールです。



被験者の進捗状況を記録

最大可動範囲：
関節の最大可動範囲を測定して屈曲・伸展・外転・内転または回転動作中の被験者の関節可動性を客観的に評価します。

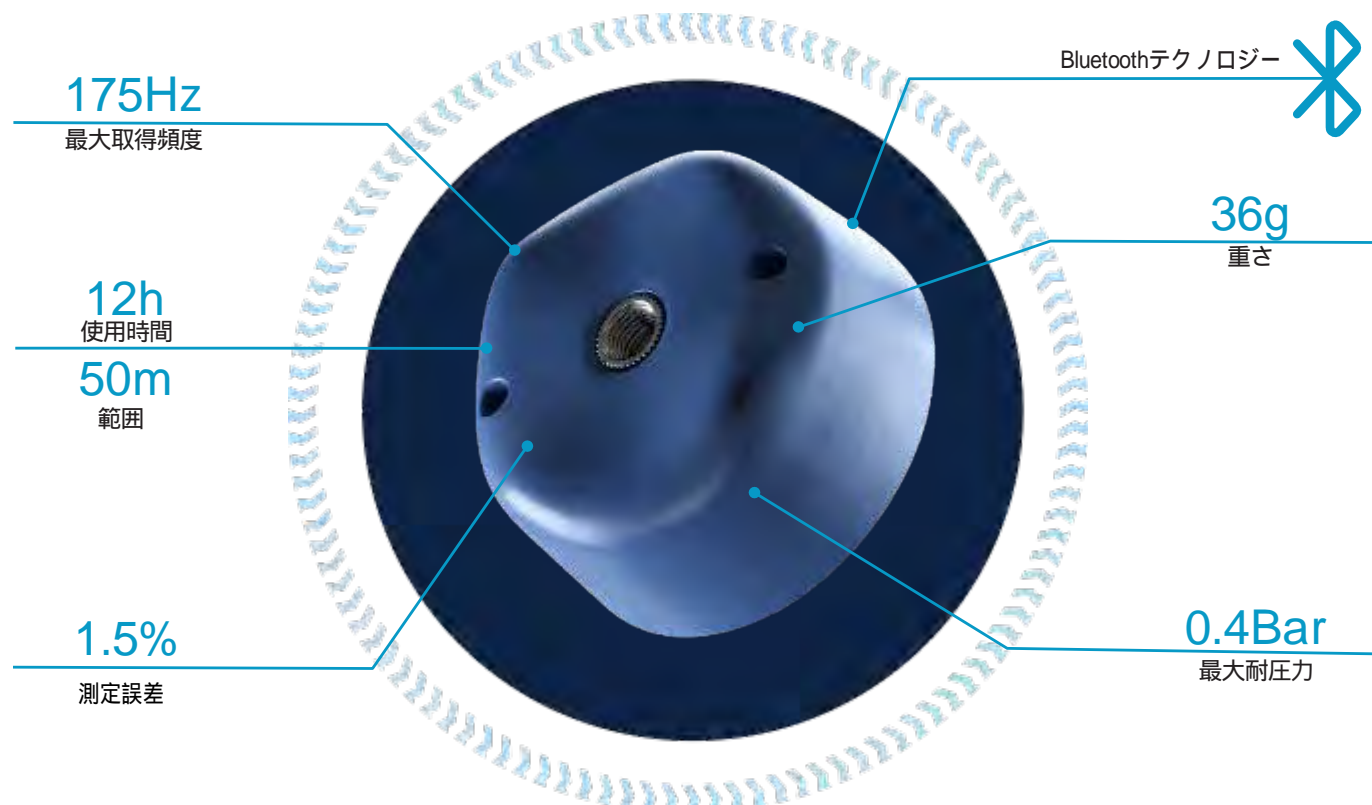
K-MoveをK-PlateやK-Deltasと組み合わせて使用すると、より正確な評価が可能になります。行うプロトコルにより片足バランスやスクワットの詳細な解析ができます。



K-BUBBLE

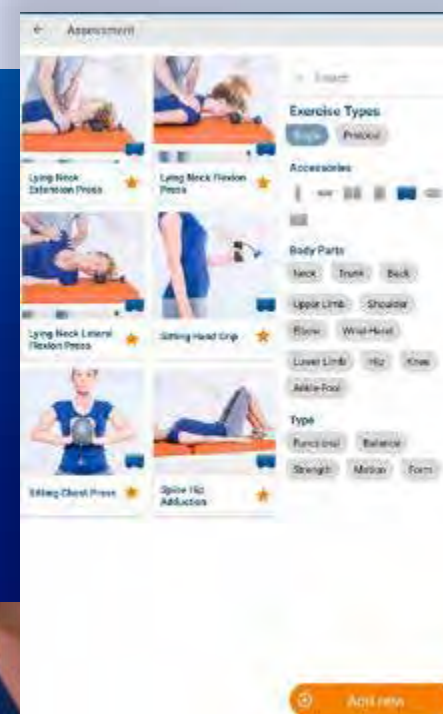
独創的な圧力センサー

空気注入式アイテム内の圧力変動から筋力評価を行います。
ボールやロール状のアイテムと組み合わせ、股関節内転筋力や首の伸展筋力などの測定が可能です。



被験者の進捗状況を記録

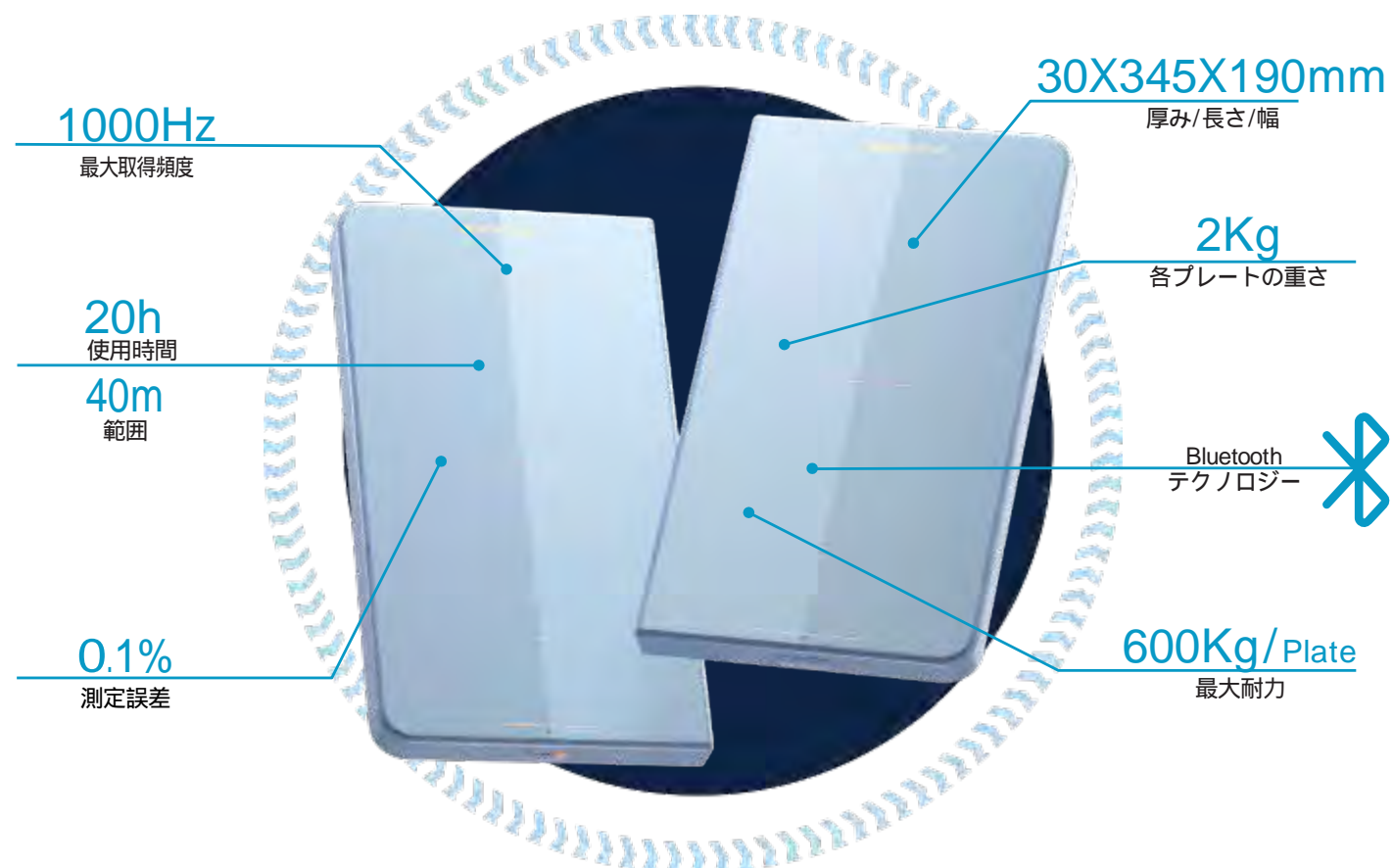
様々な筋力の測定：
選択する空気注入式アイテムを変更することで股関節内転筋力・首の伸展筋力・握力などの測定が可能です。



K-FORCE PLATES

静的/動的バランス フォースプレート

COPや体重分布を測定し、被験者のバランスを客観的に評価します。
耐久性と軽量設計により、外出先でも気軽に使用可能です。



K-DELTA S

ハイパフォーマンス用フォースプレート

最大耐力2トン・2000Hzサンプリングレート設計のフォースプレートです。
カウントームーブメントジャンプ、スクワットジャンプ、ドロップジャンプなど
アスリート向けの高度な生体力学分析に使用可能です。

2000Hz

最大取得頻度

20h

使用時間

20m

範囲

2Tons /plate

最大耐力



Bluetoothテクノロジー

8.8Kg

各プレートの重さ

44X547X368mm

厚み/長さ/幅

0.1%

測定誤差



被験者の進捗状況を記録

カウントームーブメントジャンプ (CMJ) および
スクワットジャンプ (SJ) プロトコル:

ジャンプの高さを評価し、衝撃フェーズに関する指標を取得します。
推力・パワー・RFD (力の立ち上がり率) および左右の分布を記録します。

ドロップジャンプ (DJ) プロトコル:

着地後のジャンプの高さ・地面との接地中の力の立ち上がりおよび
RSI (反応筋力指数) を記録します。

ターンキープロトコル

力/速度スペクトラムプロファイル:

最大パワーを発揮するための最適な負荷の値を測定します。

動的筋力指数 (DSI):

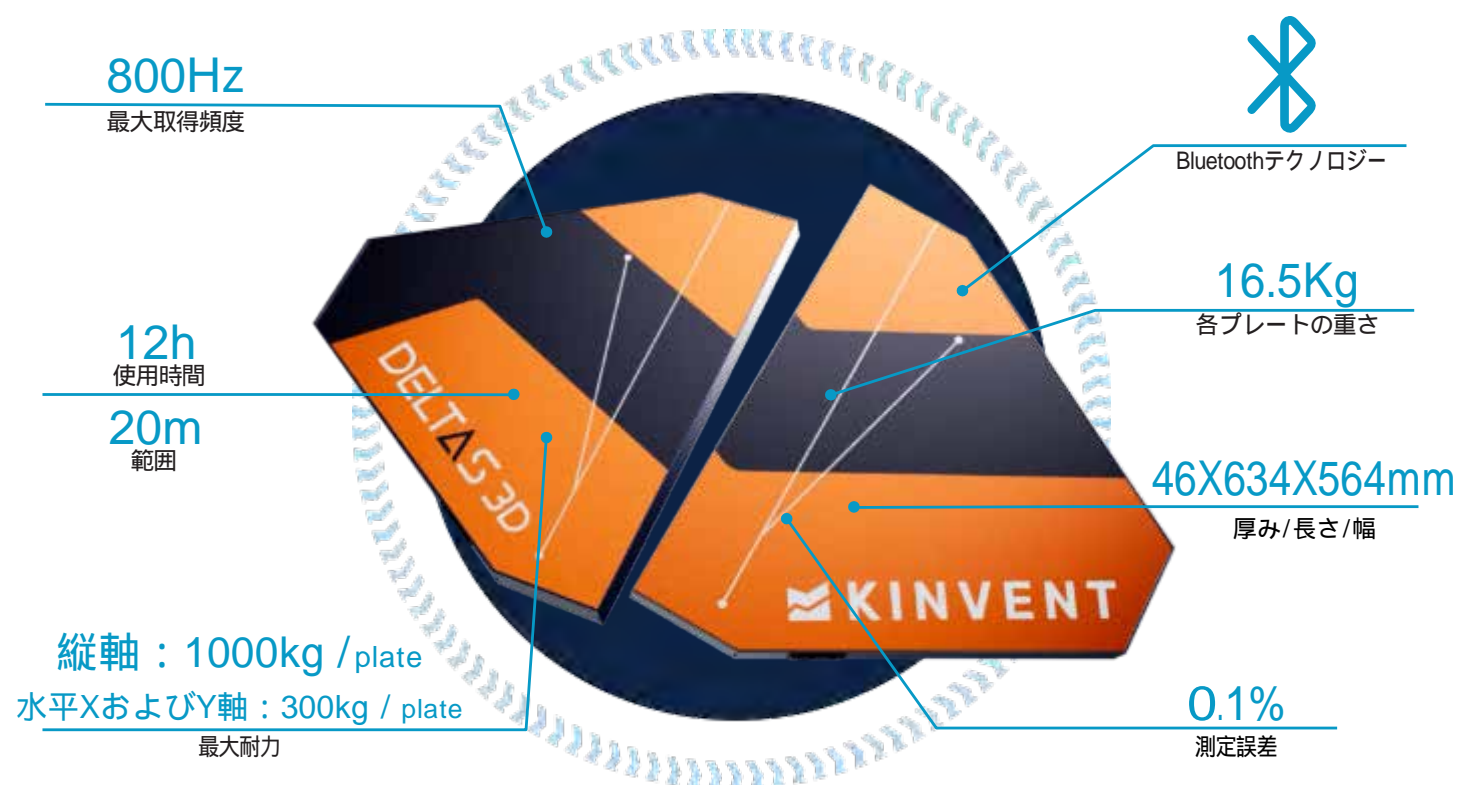
アスリートの瞬間的筋力の最大値と等尺性筋力の最大値の比率を測定します。

USE IT ON THE **PHYSIO**-APP



可搬型 三次元フォースプレート

横方向や垂直方向のジャンプ、急激な方向転換、微細な歩行分析など複雑な動きの解析が可能です。スマートフォン・タブレットのカメラを使用したマーカーレスモーションキャプチャと統合することで反射マーカを必要とせずに方向転換中のアスリートの動きを解析することも可能です。



三次元の視点を提供

多次元分析：

垂直方向の力のデータだけでなく横方向、正面方向、さらには回転方向などあらゆる次元で人間の動きを補足し分析をします。

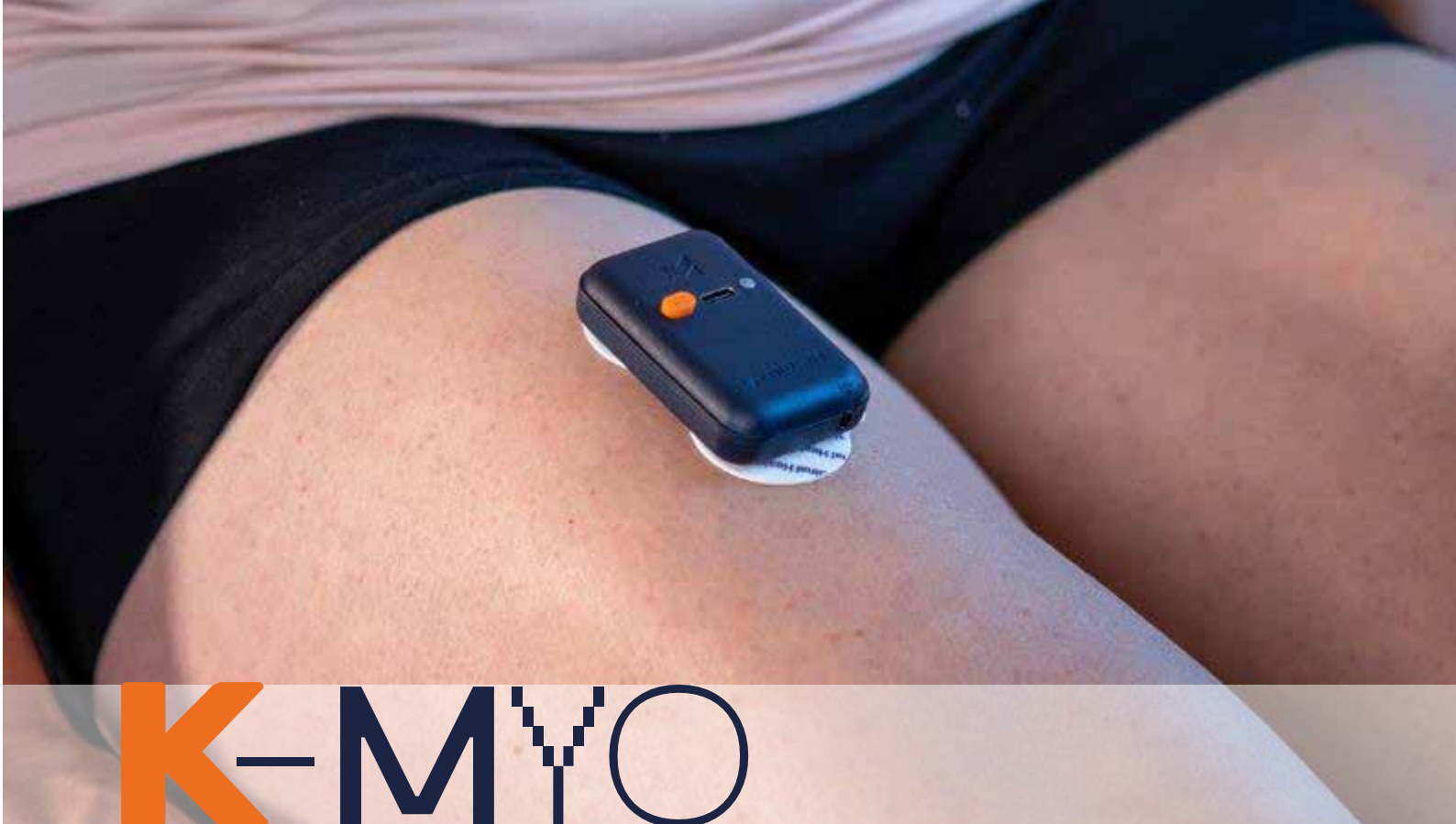
精度：

3つの軸（Fx、Fy、Fz）全てにおいて±0.1%の精度を実現し、効果的なトレーニング・リハビリテーション計画のためのデータを提供します。

モーションキャプチャ統合：

関節運動学と力ベクトルを組み合わせ、方向転換などのタスクを分析します。非効率的な力の適用と不適切な関節の位置合わせを明らかにし、怪我のリスクを軽減するのに役立ちます。

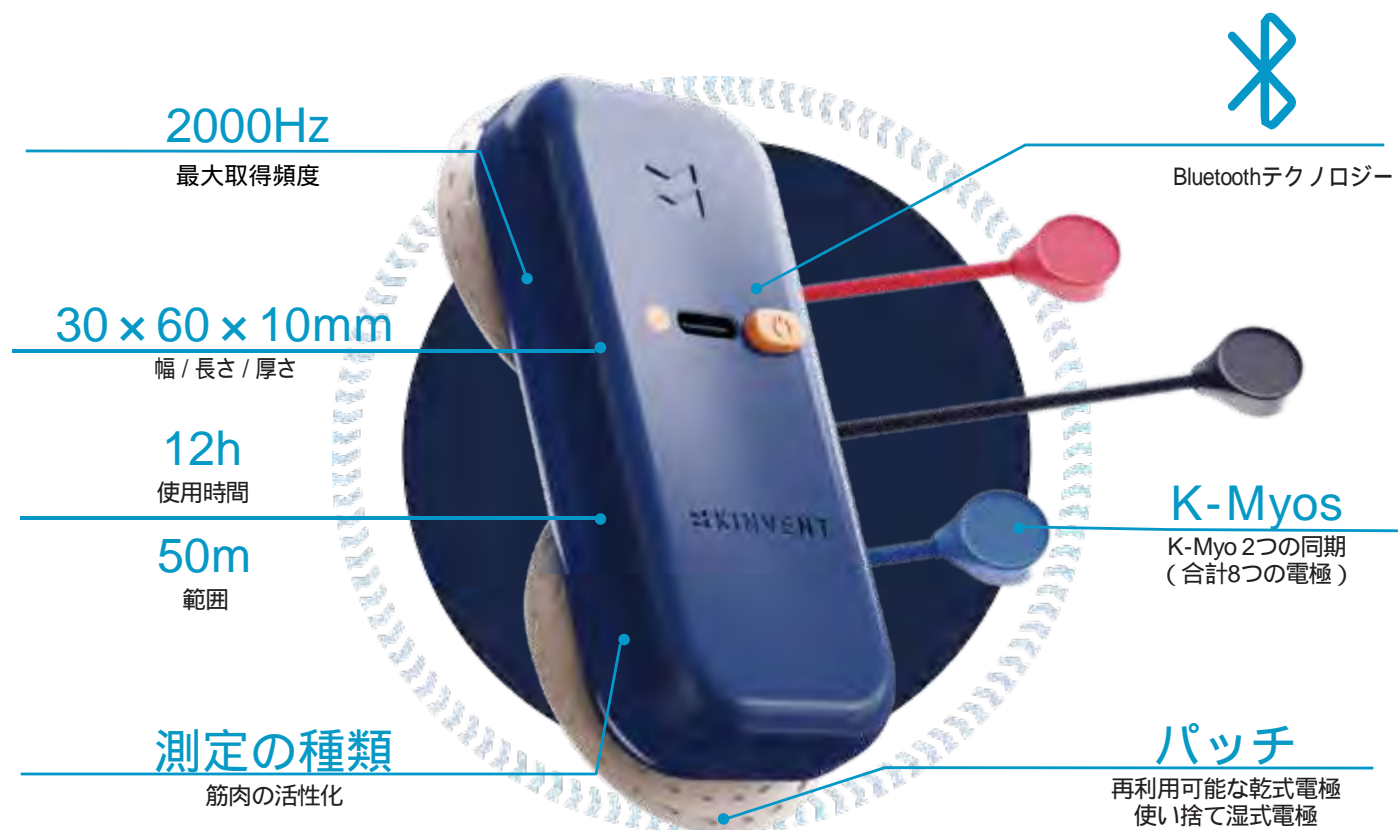




K-MYO

他センサーと組み合わせ評価可能な筋電計

KINVENTの他センサーと同期可能です。
組み合わせ使用により筋力・角度・パワーと筋電位を同時に解析することが可能です。



K-Myoによる評価

筋肉の活性化を評価

筋肉の活動を測定して、不均衡や異常を検出します。

筋肉の疲労を分析

筋電図信号から疲労を確認します。

K-Myoリハビリテーション

異常な筋肉パターンの修正

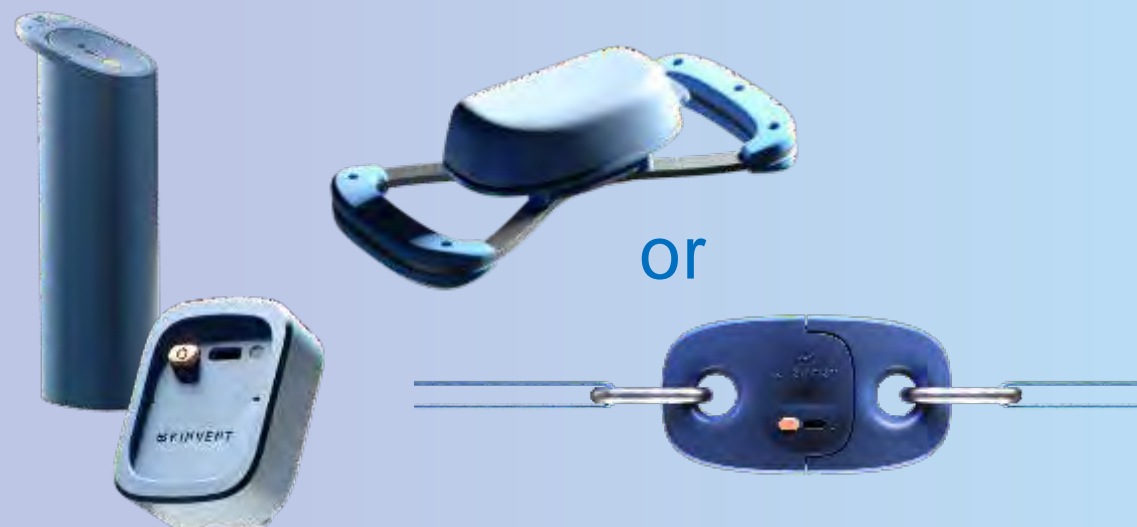
不適切な活性化パターンをリアルタイムで検出し、修正するのに役立ちます。

バイオフィードバックと運動リハビリテーションにおいて、被験者が特定の筋肉を正しく制御して活性化するように導きます。

筋肉の弛緩

リアルタイムのフィードバックを通じて緊張した筋肉を弛緩させるよう導きます。





UPPER LIMBS SET

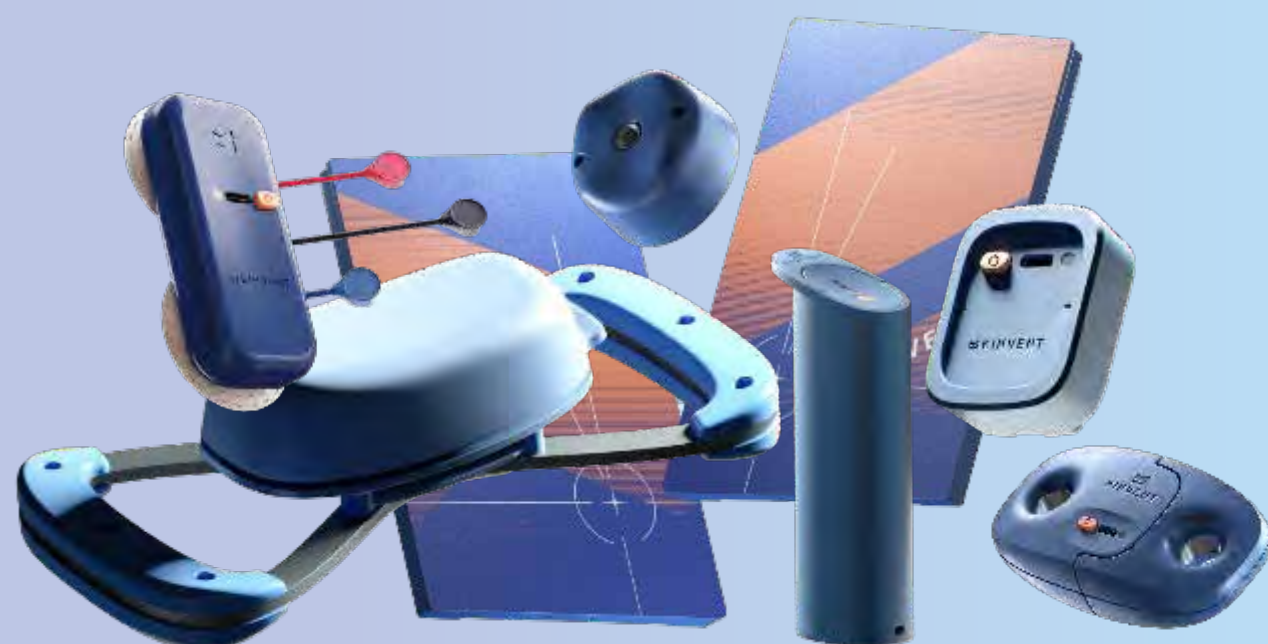
K-Grip / K-Move / K-Push or K-Pull

このセットには、ライセンスは付属しません。必要なライセンスをご選択ください。

LOWER LIMBS SET

K-Move / K-Pull / K-Deltas

このセットには、ライセンスは付属しません。必要なライセンスをご選択ください。



EXPERT PACK EXCELLENCE

K-Push / K-Pull / K-Grip / K-Move / K-Bubble / K-Deltas / K-Myo

このパックには、EXCELLENCE LICENCE の1年間のサブスクリプションも含まれています。

LICENCES



目的に応じて3種類のライセンスから選択できます。

ライセンスはサブスクリプションです。単年もしくは複数年の選択が可能です。

		STARTER	PREMIUM	EXCELLENCE
ユーザー	インストール可能な iPhone / iPad / Mac / Android 端末数	3	6	20
	作成できる療法士・トレーナー数	3	6	20
	My KINVENT（被験者の自身のデータへのアクセス機能）			
テスト	基本評価			
	質問事項（WOMAC, IKDC 等）			
	独自測定メニューの作成			
	独自プロトコルの作成			
	プレミアムプロトコルの利用			
	リーダーボード（KPIに基づきアスリート間のランキング作成）			
	K-Deltasの使用			
	複数被験者の連続測定（同一測定メニュー）			
	エクセレンスプロトコルの利用 Mc call Test, IYT, Nordic test, DSI, Romberg coefficient			
	スマートモード（最大5つのセンサーの同時接続測定）			
	K-apture（測定動作の動画撮影・測定結果との統合）			
トレーニング	バイオフィードバック（Isometric/Repetitions）			
	ゲーム			
	リハビリテーションガイド			
レポート	リハビリテーションやトレーニングの進捗をアプリ上で確認			
	測定レポートのPDF出力			
	詳細な測定レポートのPDF出力（フェーズ毎の結果等）			
	レポートへ療法士・トレーナーの署名表示			
	複数被験者測定レポートの一括PDF出力			
	KINVENT Connect (PCから測定レポートや被験者プロフィールへのアクセス)			
	測定結果のCSV出力			

TRUSTED BY



< 重要注意事項 >

本製品は非医療機器です。人若しくは動物の疾病の診断、治療若しくは予防等の医療目的での使用をお控えください。

Rev.'25-05

KINVENT Biomechanics社 日本総代理店

東洋メディック株式会社

第二事業本部 計測部

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋3-8-5

TEL: 03-6825-1845 (計測部 直通)

FAX: 03-6825-3737

E-mail: kankyou@toyo-medic.co.jp

URL: <http://www.toyo-medic.co.jp/>